

## 4. 業績の見通し

通期の業績予想（売上高、営業損益、経常損益、当期純損益）につきましては、泊発電所1・2号機の発電再開時期を見通すことが難しく、本州方面への電力融通や火力発電所の燃料焚き増しに係る収入・費用を合理的に算定できないことから、連結・単独ともに未定としておりました。

泊発電所1・2号機につきましては、昨年12月、原子力安全・保安院に「安全性に関する総合評価の一次評価報告書」を提出し、現在、審査していただいているところであり、発電再開時期を見通すことが依然として難しいことから、営業損益、経常損益、当期純損益を引き続き未定といたします。

今後、営業損益、経常損益、当期純損益を見通すことが可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

一方、本州方面への電力融通につきましては、3月末までの契約を締結したことにより、見通すことが可能となりました。

この結果、平成24年3月期の連結売上高につきましては、前期に比べまして、東日本大震災を契機とした業務用における省エネ意識の高まりなどによる販売電力量の減少はありますが、燃料価格の上昇による燃料費調整制度の影響や本州方面への電力融通の実施などにより、700億円程度増収の6,360億円程度となる見通しです。

配当につきましては、安定配当の維持を基本としております。今回、営業損益、経常損益、当期純損益は未定といたしますが、その要因は一過性のものと考えており、平成24年3月期の期末配当金を中間配当金と同額の1株につき25円とする配当予想に変更はありません。

当社は、電力の安定供給を確保していくため、防潮堤の設置など泊発電所の安全対策にしっかり取り組み、1・2号機の1日も早い発電再開を目指してまいります。

(参考) 泊発電所1号機は昨年4月22日から、泊発電所2号機は昨年8月26日から定期検査により運転を停止しています。

### ○ 連結業績見通し

|                       | 通         | 期                     |
|-----------------------|-----------|-----------------------|
|                       |           | 対前期増減                 |
| 24年3月期連結業績予想 (単位：百万円) |           |                       |
| 売上高                   | 636,000   | 70,000                |
| 販売電力量                 | 321億kWh程度 | (△0.7%程度)<br>△2億kWh程度 |

(注1) 営業損益、経常損益、当期純損益は未定としております。

(注2) 販売電力量は、10月公表時から変更ありません。

### ○ 単独業績見通し

|                       | 通       | 期      |
|-----------------------|---------|--------|
|                       |         | 対前期増減  |
| 24年3月期単独業績予想 (単位：百万円) |         |        |
| 売上高                   | 616,000 | 70,000 |

(注) 営業損益、経常損益、当期純損益は未定としております。

※通期の為替レートは79円/\$程度（1月以降77円/\$程度）、原油CIF価格は113\$/b1程度（1月以降112\$/b1程度）として想定しております。